

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-2-3	取組項目名	職員提案制度の導入			
所管	—	局	市政集中改革室	部	行革推進担当	課
〔P〕 取組内容	実施内容	事業(サービス)・業務の改善などについて、全職員がその知恵や経験、気付きを活かし、組織の枠組みを超えた、いわゆる「おせっかい」の視点から気軽に提案できる制度を導入します。この制度の活用を通じて、さらなる市民サービスの向上や効果的・効率的な事業・業務の推進及び業務における適切なリスク管理を行うとともに、職員の市政運営への参画意識、業務改善・リスク対応の改善意識の向上を図ります。				
	目標	H30	職員提案制度に基づく提案数 100件			
		R1	職員提案制度に基づく提案数 100件			
		R2	職員提案制度に基づく提案数 100件			
〔D〕 実績・進捗状況	H30	・職員提案制度の運用を開始(4月)。庁内への制度の周知及び提案を促すため庁内ホームページ等を活用した。職員提案制度に基づく提案数は115件であった。				
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	・通年で実施している職員提案制度に加え、令和元年8月～9月に事業見直しに関する職員提案を実施した。令和元年度の提案数は321件であった。				
		R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2	・令和元年度と同様、通年で実施している職員提案制度に加え、令和2年6月～7月に事業見直しに関する職員提案を実施した。令和2年度の提案数は157件であった。				
		R2の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R2の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	- 百万円	- 百万円	- 百万円	
実績		- 百万円	- 百万円	百万円		
評価	A	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 課題分析	<p>・第3期行財政改革プログラムの計画期間(平成30年度～令和2年度)において、本計画のKPIの目標値である300件を上回る提案があり、組織を超えた職員の知恵や気付きを全庁で共有する制度目的を一定は果たされたと考えられる。</p> <p>・一方で、提案を行う職員の固定化や、人事評価関係や業務システム等内部事務の改善に関する提案が全体の4割を占め、提案内容にやや偏りが見られることなど、制度を運用する中での課題もあった。</p>					
〔A〕 改善策	<p>・職員提案制度の目的を一定は果たせたこと、また、提案を行う職員の固定化や提案内容に偏りが見られることなどから、令和2年度末をもって休止する。今後、再開する場合には、上記の課題を踏まえ、より効果的・効率的な制度の運用手法等について検討を行う。</p> <p>・なお、令和3年度以降は、令和3年2月に「堺市財政危機宣言」を発出したことを受けて、令和3～4年度は「集中改革期間」として市政全般の抜本的な行財政改革に取り組む。</p>					
備考						